

広島大学医学部 FD

「診療参加型臨床実習に向けて」

日時: 平成 24 年 10 月 2 日(火) 17:30

概要: 臨床実習に参加しているすべての教員、診療科が現在の実習の問題点を共有し、診療参加型実習を充実させるための方策を提案するため、臨床実習に関するテーマを設定してワークショップ形式で行い、現在の臨床実習の問題点の抽出、評価方法、全実習期間を通じて学生が習得すべき技能、態度などについて議論を行った。

成果: 参加者は計 37 名であり、臨床実習を受け入れるすべての診療科から出席が得られた。ワークショップは、臨床実習の評価法(2グループ)、教員の負担軽減、学生・教員のモチベーション、院外実習の充実の4つのテーマを5グループに分担して討論を行った。各グループの討論の成果は以下の通りであった。

1) 臨床実習の評価法

※ 克服すべき具体的な課題

- ・評価の目的が学生にとっても教員にとっても明確にされていない
- ・到達目標を評価者、学生とも把握していない
- ・態度の評価は難しい
- ・各科の評価法が一定していない
- ・各科に到達目標がない
- ・各科の評価時期、方法、評価者がバラバラ
- ・評価しても feedback されていないので評価者する側の motivation が低い

※ 課題解決の方策

- ・5段階評価の再考
- ・優秀な学生に対する表彰
- ・臨床研修病院での matching 時に実習の評価点を加点する
- ・ポートフォリオの導入
- ・各科の到達目標を定めて修了判定を行う

2) 教員の負担軽減

※ 克服すべき具体的な課題

- ・学生のレベル、やる気の不均一
- ・学生の評価の労力
- ・事前の準備の労力
- ・教員間のコミュニケーション不足

※ 課題解決の方策

- ・学生の中でリーダーを決めて、学生同士で教えあう
- ・学生に予習をしてもらう（事前に課題を与える）
- ・評価を厳しくする
- ・学生同士で評価する
- ・患者さんを担当してもらう

3) 学生・教員のモチベーション

※ 改善の方策

- ・手洗いさせ手術につかせる
- ・将来の職業の職場見学ということを説明して、モチベーションをあげさせる
- ・職員の評価に教育部門を入れ、給料に反映させる
- ・アドバンスで選択→入局という流れが教員のモチベーションになる

4) 院外実習の充実

※ 克服すべき具体的な課題

- ・病院間・科間に差がある
- ・何を教えるかが明らかでない
- ・カリキュラム・マニュアルの不足
- ・引き継ぎ、情報伝達の不足
- ・学生は何を学ぶか、目標が持てない
- ・病院との事前の打ち合わせがない

※ 課題解決の方策

- ・院外 FD を行う
- ・マニュアルを共用する
- ・コーディネーターを置く
- ・学生側の態度の改善
- ・学外 early exposure（患者の会、ボランティアなど）を臨床実習前にもう一度行う